

## 再意見提出フォーマット

再意見提出者	慶應義塾大学 財団法人流通システム開発センター
--------	----------------------------

## 意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
40	クアルコムジャパン株式会社様	<p>意見</p> <p>I. UHF 帯パッシブRFID の国際標準(ISO/IEC 18000-6, GS1 EPCglobal Class 1 Generation 2 Passive RFID)では860-960MHz が周波数帯として指定され、我が国でも、それに合致した950MHz の周波数帯域で、製品が提供され、すでに多くのシステムが実用されています。一方、米国、韓国等では900~920MHz 帯を使用しており、現在865MHz 帯を使用している欧州もこの周波数帯へ移行する動きがあります。このため、他無線システムの周波数配置を世界標準に合致させることの緊急性が高く、総合的に合理的である可能性があるならば、わが国のRFID 用周波数帯についても、既存システムを十分保護する条件で、米国等と同様の周波数帯域（たとえば915-925MHz）への移行の可能性を調査することは適切と考えます。</p> <p>II. すでに大きな市場を有している携帯電話とは異なり、RFID はまだ黎明期の技術・ビジネスです。RFID 産業界が長期的な研究開発計画、リソース配分計画を講じ、発展していくための、諸外国との連携や国際標準化機関との協調、共同検討などの実施についても、上記調査の項目として取り扱っていただきたい。</p>
47	ソフトバンクモバイル株式会社様 ソフトバンクテレコム株式会社様 ソフトバンクBB 株式会社様	
58	日本エリクソン株式会社様 ノキアシーメンスネットワーク株式会社様 ノキアジャパン株式会社様	
	ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社様	
59	パナソニック株式会社様	